

にいがた

シルバー連合

2025
NIIGATA

68号

1月発行

CONTENTS

- | | | | |
|------------------------------------|-----|----------------------|---|
| 新年のごあいさつ..... | 2,3 | SC事業普及啓発..... | 6 |
| 研修会開催..... | 4 | 高齢者活躍人材確保育成事業..... | 7 |
| 安全・適正就業パトロール
北信越SC連絡協議会職員研修会 .. | 5 | 活動拠点の紹介(魚沼市SC) | 8 |

しおりとうげ たきぐも
枝折峠の滝雲・雲海

早朝に奥只見・銀山平で発生した霧が雲海となり山の稜線を越え、まるで滝のように流れ落ちる「滝雲(たきぐも)」という自然現象です。9月頃から11月頃に見られる現象で、毎年多くの観光客で賑わいます。

写真提供:魚沼市観光協会

新年のごあいさつ



(公社)新潟県シルバー人材センター連合会

会長 若林 孝

新年あけましておめでとうございます。

県内シルバー人材センター会員並びに職員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、行政をはじめとした関係機関の皆様には、シルバー事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。ご承知のとおり我が国においては、急速な少子高齢化が進展する中、労働力人口の大幅な減少により、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の構築が急務となっています。

このような中、働く意欲のある高齢者に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供するとともに高齢者の生きがいづくりにも大きく貢献しているシルバー人材センターの役割は増々大きくなってきています。

一方、高まる期待の中で、組織の根幹となる会員の減少、昨年11月から施行されたフリーランス新法への対応、契約方法の見直し等喫緊の課題もあり、厳しい状況が続いています。

シルバー事業は、「自主・自立、共働・共助」の理念を堅持しつつ、社会の要請に応えるとともに、コンプライアンスの一層の遵守も求められており、適正に対応していくことが必要です。

これからも安全・適正就業を推進し、会員の増強や就業機会の確保に努め、高齢者が生きがいを持って働き、地域に貢献できるよう努力して参ります。

そのためには、県内21のシルバー人材センターと当連合が、共に力を合わせ取り組むとともに、シルバー事業の魅力や有用性等について、広く周知・広報していくことも重要であると認識しています。

関係機関の皆様、今後ともご支援・ご指導どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸、シルバー事業の増々の発展を祈念申し上げ新年のあいさつといたします。



謹賀新年



(公社)新潟県シルバー人材センター連合会役員一同

会 長	若 林 孝	(公社)新潟市シルバー人材センター理事長
副 会 長	松 平 敏	(公社)長岡市シルバー人材センター理事長
副 会 長	井 部 博 光	(公社)上越市シルバー人材センター理事長
常 務 理 事	秋 山 憲 一	(公社)新潟県シルバー人材センター連合会事務局長
理 事	野 崎 義 雄	(公社)三条市シルバー人材センター理事長
理 事	本 間 敏 博	(公社)柏崎市シルバー人材センター理事長
理 事	大 島 勉	(公社)十日町地域シルバー人材センター理事長
理 事	木 村 健 彌	(公社)五泉市シルバー人材センター理事長
監 事	小 柳 龍 史	(公社)新発田地域シルバー人材センター理事長
監 事	樋 口 正 治	(公社)加茂市シルバー人材センター理事長



新潟労働局長 千葉茂雄

新年あけましておめでとうございます。

新潟県シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本県のシルバー人材センター事業は、県内21のセンターにおいて、約2万人の会員を有し、着実な事業運営により活力ある地域社会づくりに大きく貢献されていることに、改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。

さて、現下の新潟県内における雇用情勢については、少子高齢化に起因する労働力供給制約がある中、経済社会活動の回復等に伴う人手不足の問題が顕在化しています。

こうした中、高齢者の就業者数は20年連続で増加を続けており、高齢者の皆様が希望や意欲に応じて能力を活かし、誰もが年齢に関わりなく生き生きと働くことのできる「生涯現役社会」の実現に向けた雇用・就業対策の推進が求められております。

このため、新潟労働局では、若者や女性、高齢者の誰もが新潟で自分らしく働き、暮らし、輝ける社会の実現を目指し、総合労働施策推進プロジェクトとして『NIIGATA Niji Work プロジェクト2024』を推進しているところであり、同プロジェクトにより、高齢者の就労・社会参加の促進を図ることとしています。

「人生100年時代」を迎える中、元気で就労の意欲にあふれ、豊かな経験と知識を持った高齢者が、それぞれの地域で雇用・就業の場を得て、社会活動等に関与していく環境を整えることは極めて重要であり、多様な就業機会と高齢者とのマッチング支援を行うシルバー人材センター事業は、単に高齢者の就業促進というだけでなく、多様な社会参加による生きがいの充実、さらには地域社会の発展にも貢献しており、その役割には、今後、益々期待が高まるものと考えています。

新潟労働局といたしましては、令和7年においても、引き続きシルバー人材センター事業が地域社会に根ざした事業として一層発展していくよう、高齢者雇用対策を推進してまいります。

最後に「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、今後のシルバー人材センター事業の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新潟県産業労働部雇用能力課長 小出章

新年あけましておめでとうございます。シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様におかれましては、新しい年を迎え、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより、本県のシルバー人材センターが高齢者の就業機会の提供にご尽力され、地域社会の活性化に貢献しておられますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本県の高齢化率は、令和6年10月時点で全国平均を上回る34.3%となっております。高齢化率の上昇に伴い、生産年齢人口の減少も見込まれており、労働力不足や経済規模の縮小等の影響が懸念されるとともに、地域社会の担い手不足等も危惧されます。

一方、65歳以上の就業者数が増加し、就業意欲の高まりもみられるなど、多くの高齢者の方々においては更なる活躍の場を求められているところです。

このような中、誰もが年齢に関わりなく、それぞれの意欲や希望に応じて、様々な活動に参画する多様な機会を確保し、その能力を十分に発揮できる環境を整備することは、地域社会を支える力を強化し、個人の生きがいづくりに大きく貢献するものとなります。

シルバー人材センターにおかれましては、会員と企業等双方のニーズに応じた就業機会の確保・提供に取り組まれていることから、その役割への期待は、地域社会において、今後より一層高まっていくものと考えております。

県といたしましても、引き続き、シルバー人材センターの取組を支援するとともに、「女性・高齢者等新規就業促進プロジェクト（にいがたアクティ部）」により、高齢者のライフスタイルに応じた多様な就業機会の創出促進に取り組んでまいります。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、会員、関係者の皆様のご健勝を祈念申し上げますとともに、県政への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

研修会開催

◆ 新任職員研修会

9/12 (18名出席)

センターを担っていく人材育成の一環として新任職員研修会を開催しました。

第1部は、連合会事務局 阿部総務係長が「シルバー人材センター事業について」講義し、第2部は2グループに分かれ、日常業務の課題などについて、職員同士活発に意見交換をしていただきました。

今回の研修内容をセンターに持ち帰って、センターの業務に活かしていただきたいです。



グループ討議

◆ 契約方法の見直し研修会

10/11 (100名出席、うち64名リモート出席)



全シ協 石原亘氏

厚生労働省から「契約方法の見直し」について提案がなされており、県内のセンターにおいても準備を進めています。

このような状況を踏まえ、契約方法の見直しについて、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の石原亘業務部長様からご講義いただきました。

関心も高く、100名の出席となり事前質問にも丁寧にご対応いただき、有意義な研修会となりました。

◆ 役員研修会

10/24 (118名リモート出席)

例年、上・中・下越の3会場で研修会を開催していましたが、今回初めて「オンライン」という形で開催しました。

講師に、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団の石橋智昭研究部長様をお迎えし、「シルバー事業に役立つ“老年学”のすすめ」と題してご講演いただきました。

高齢者の特徴が理解でき、理事・監事としてシルバー事業に携わるにあたって有意義な内容でした。

今後のシルバー事業に活用していただきたいと思っています。



ダイヤ高齢社会研究財団 石橋智昭氏

◆ 派遣・請負業務担当者研修会

12/10 (リモート90名出席)



新潟労働局 角木氏(左) 上田氏(右)

派遣・請負業務の制度の理解や実務のために、新潟労働局職業安定部受給調整事業室 上田需給調整指導官、角木需給調整事業専門相談員を迎えて「請負と派遣の区分と労働者派遣事業の解説」についてご講義いただきました。

事例や資料を交えて具体的に説明いただき、労働者派遣事業の基本的事項について改めて確認することができました。

講義いただいた内容を今後の業務に活かしていただきたいと思っています。

安全・適正就業パトロール

今年度は除草作業と冬囲い作業を中心に5センターで実施しました。

機械除草では、全国的に飛び石事故の増加が問題となるなか、石が飛びにくい刈刃の使用を推奨するなど、飛び石事故防止に重点をおいた対策を実施していました。冬囲い作業では、三脚脚立の開き止めチェーンを確実に使用し、樹木に固縛して使用することや墜落制止用器具を着用するなど、安全作業の徹底が図られていました。

また、パトロール後には安全に関する取り組みや課題について意見交換を行いました。

近隣センターの巡回指導員がパトロールを行うことにより、いつもとは違う視点で作業現場を確認することができます。

安全パトロールが各センターにおける安全就業に繋がる機会になればと考えています。引き続き安全・適正就業の取り組みをお願いします。



北信越シルバー人材センター連絡協議会 職員研修会

令和6年11月14日～15日に、昨年と同じく、湯沢町のNASPAニューオータニにおいて北信越シルバー人材センター連絡協議会（以下、「北シ協」という）の職員研修会・経験交流会を開催いたしました。

北シ協管内より総勢52名が出席しました。会長挨拶の後、開催地である湯沢町の副町長 長澤輝様より町長代理として歓迎のご挨拶をいただきました。

全体会では、(公社)全国シルバー人材センター事業協会の永野靖企画管理部長様から「これからのシルバー人材センターについて」と題してご講演いただきました。その後、「会員拡大」等3つのテーマごとの分科会を開催し、活発な意見交換を行いました。また、経験交流会ではより打ち解けた意見交換もでき、「絆ができた、有意義な場だった」という声もいただきました。

2日目の全体会では各グループの発表後、永野靖企画管理部長様より講評をいただきお開きとなりました。ご出席いただいた各連合(会)、センター様、ご協力ありがとうございました。



新潟県連合会 若林会長



全シ協 永野靖氏



講義

シルバー人材センター事業普及啓発

“シルバーフェスタ”の開催 10月18日(金)イオンモール新潟亀田インター

普及啓発促進月間の取組みのひとつとしてシルバーフェスタを開催しました。

お仕事体験では、会員から説明を受けながら、小物づくり、網戸の張替え、パソコン体験が行われ、多くの方に参加いただきました。平日ということもあってシニア層の女性や夫婦での買い物客で賑わい、ふらりと、脳年齢測定や相談コーナーに寄って行く方がいて、シルバー人材センターを知っていただく機会となりました。



脳年齢測定



全体の様子



就業相談



手作り小物ミニ教室
鍋つかみ作成



網戸の張替え就業ミニ体験



パソコン就業ミニ体験
名刺づくり

JR新潟駅 デジタルサイネージ

広告は、1時間に1回程度30秒間表示されます。5月から商業施設が全面開業したこともあり、多くの人に広告を目にってもらうことができたと考えています。



新潟ユニゾンプラザ展示

1階イベント広場にポスター等を9~10月の2か月間、シルバー人材センターで働く女性会員の愛称“シルボンヌ”について展示しました。



シルボンヌとは？

「silver (シルバー)」とフランス語で女性のお手伝い、親切、優れたという意味の「bonne (ボンヌ)」をあわせた造語です。

現在は全国のシルバー人材センターがシルバー人材センターのイメージアップと女性会員の入会促進に向けて会員の普及・浸透に取り組んでいます。



高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者活躍人材確保育成事業は、新潟労働局の委託を受けて地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進するため、技能講習、就業体験、仕事説明会、セミナー等を開催しました。

講習等は、県内シルバー人材センターに対して「地域ニーズ調査」を行い、地域の手不足分野の仕事を中心に設定しています。

技能講習



保育補助員講習
(十日町市)



放課後児童クラブ補助員講習
(上越市)



生活援助の担い手養成研修
(南魚沼市)



おそうじマイスターのお掃除教室
(加茂市)



刈払機取扱講習
(佐渡市)



チェーンソー講習
(柏崎市)

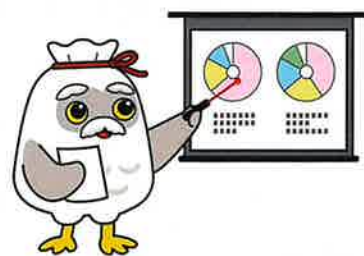
就業体験



障子張りのしごと体験
(小千谷市)



筆耕のしごと体験
(十日町市)



仕事説明会



仕事説明会
(長岡市)

セミナー



健康エクササイズ
(阿賀町)



ドローン活用
(阿賀野市)

活動拠点の紹介

(公社)魚沼市シルバー人材センター

当センターは平成16年11月1日の魚沼市誕生を契機に、それまで市内の一部で展開していたシルバー人材センター組織を平成17年4月1日付で市内全域に範囲拡大し、「魚沼市シルバー人材センター」として発足いたしました。

魚沼市発足前の平成16年10月23日には未曾有の被害となった「中越地震」が発生し、苦難の船出となりました。旧各町村の被害は甚大で、シルバー人材センターの活動にも大きな影響が出ましたが、統合により組織基盤の強化と会員の増員、就業部門の多様化を図り何とか乗り切ることが出来ました。

現在は発足から20年が経過し、令和5年度末現在で会員数396名、契約額154,278千円、配分金・賃金額124,292千円という事業実績となっています。センターを取り巻く環境は人口減少や定年年齢の引き上げなどにより厳しい状況が続いていますが、今後も引き続き、会員募集のPR広報活動や就業分野の拡大に取り組み、高齢者の社会参加や福祉の向上に寄与すべく日々研鑽を続けて参る所存です。

サークル活動や会員交流事業を推進

手芸サークル、麻雀サークル、囲碁将棋サークルなどを立ち上げ、就業以外にも楽しめる環境づくりを行いながら会員間の融和を図り、近年は日帰り旅行などを開催し大勢の参加を頂いています。10月には地区の農業祭に出展し、手芸サークルでの成果品の販売を行うとともに、入会相談窓口や利用相談窓口などに、多くの市民の皆様からご来場いただきました。

◆令和6年11月1日に関越自動車道の小出ICが魚沼ICに生まれ変わりました。
魚沼産コシヒカリの本場へどうぞお出かけ下さい。



農業祭サークル成果品販売



松代芝峠温泉雲海へ日帰り旅行



冬囲い初心者講習

〒946-0051 魚沼市今泉1488番地1 旧広神庁舎2階 TEL 025-793-7458

新潟労働局からのお知らせ

労働保険は、労災保険・雇用保険の各種給付金のほか、雇用の安定のために事業主に支給される助成金等の各種支援制度も設けられている制度です。

労働者を一人でも雇っている事業主は、労働保険の加入手続きが必ず必要となります。



編集後記

皆様のご協力により、「シルバー連合にいがた68号」を発行することができました。ご寄稿いただきました皆様に感謝申し上げます。

今年が「巳(みへび)年」です。「巳」は、十二支で蛇を表します。蛇は古来より豊穡や金運を司る神様として祀られています。たくましい生命力があり、医療、治療、再生のシンボルともされています。

今年4月3日から10月13日まで、「大阪・関西万博」が開催されます。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。目指しているのは、「SDGs(持続可能な開発目標)」達成への貢献や日本の国家戦略「Society 5.0」の実現です。「Society 5.0」とは、日本が目指す未来社会のビジョンであり、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させることにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を実現しようとするものです。人間中心の社会においては、シルバー事業は、より一層重要な役割を担うものと考えています。

本年が、皆様にとってよい年になりますように願っています。

(片野)

(公社)新潟県シルバー人材センター連合会

〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2F

TEL.025-281-5553 FAX.025-281-5554

E-mail n-rengo@pluto.plala.or.jp

https://webc.sjc.ne.jp/niigata/